

## 「第9回紀伊半島三県議会交流会議」の開催結果について

1. 開催日 平成27年7月15日(水)
2. 開催場所 三重県立熊野古道センター(尾鷲市向井12-4)
3. 参加者 奈良県議会議員(7名)、和歌山県議会議員(9名)、  
三重県議会議員(9名) 計25名

| 職名  | 氏名    |
|-----|-------|
| 議長  | 中村進一  |
| 副議長 | 中森博文  |
| 議員  | 津村衛   |
| 議員  | 東豊    |
| 議員  | 大久保孝栄 |
| 議員  | 藤根正典  |
| 議員  | 野口正   |
| 議員  | 中瀬古初美 |
| 議員  | 稲森稔尚  |

4. 会議では、下記の3項目について、三県が連携して取り組んでいくことで合意しました。

### (1) 観光振興について

トレイルランニングやサイクリングコース、街道ウォークなどのスポーツイベントを活用した取組、吉野熊野国立公園指定80周年を契機とした新たな取組、豊富な食材を活用した取組などの誘客促進について意見が出されました。

世界遺産登録地域において三県が連携して取り組んでいる「吉野・高野・熊野の国」事業の推進をはじめ、更なる誘客促進に向けて、歴史・文化、豊かな自然などを三県が連携して情報発信していくことについて合意しました。

### (2) 林業・木材産業振興について

「高級材を選んで出す林業」から「全てを搬出して多用途に供給する林業」への転換を目標にして取り組んでいることや、首都圏での商談会開催による新たな販路開拓や木質バイオマスの熱利用などについて意見が出されました。

林業の担い手育成や木材需要の拡大は三県共通の課題であるため、木質バイオマスも含めた木材の需給動態の把握に向けた情報交換などについて連携していくことを確認するとともに、引き続き地域材の需要拡大に向けて、国に要望してい

くことを合意しました。

(3) 大規模地震対策の推進について

被災地支援の拠点となるヘリポートを併設した自衛隊駐屯地の誘致活動や、紀伊半島が一体となったドクターヘリの利用連携及び柔軟な運用対応などについて意見が出されました。

既に締結されている三県を含む広域的な協定などの具体的な内容を充実させていくとともに、自衛隊派遣も含め、三県の相互応援体制を更に連携強化する必要性について合意しました。

5. 今後の予定

林業・木材産業振興における地域材の需要拡大に向けては、今後、開催県である本県議会において要望書を取りまとめ、三県議長の連名で国等に要望書を提出していきます。